

## 〔出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組〕

## 組織体制の見直し

- 平成21年度は、南予観光の拠点及び地域の活性化に寄与すべく、津島やすらぎの里に配置している観光課を観光交流課と観光振興課に改編するとともに、地域観光施設の紹介、案内等を行う「南予観光情報センター」の開設準備室を設置した。また、新規イベントの発掘、地元特産品及び南レク施設の有用資源を活用した新商品の開発を促進するため、商品開発課を設置するなど、組織体制の見直しを行なっているところである。今後も組織改変の効果を検証しながら随時、見直しを検討するなど、1次評価にあるとおり、引き続き経営環境に合わせた柔軟な組織体制づくりに取り組んでいただきたい。

## 経営基盤の充実・強化

- 指定管理者となっている南レク都市公園の運営において、主要施設である南楽園・ファミリーパークでは、かねてから行っている花の周年化、遊歩道の整備、万葉植物の植栽、絶景ポイントの石版設置や地元出身の彫刻家の個展を開催するなど、新たな公園活用方法と地域に密着した魅力ある施設づくりに努めているものの、菖蒲祭り入園者やファミリーパーク利用者の減少により、平成20年度利用者数は106,228人と前年度比8.7%減となっており、南レク都市公園全体としての利用者数も362,956人(前年度比3.3%減)、利用料金収入は42,753千円(前年度比3.5%減)と、依然として減少傾向に歯止めがかかっていない。
- 平成20年度の法人全体の売上高は、旅行業(南レク観光)と津島やすらぎの里の新規事業で、前年度比15.3%増の543,317千円となったものの、新規事業立ち上げの準備経費が高んだことや、原油高騰のあおりを受け、当期利益は前年度比27,506千円減の1,856千円となった。このような厳しい経営環境の中、経営効率化による諸経費の削減などにより、3年連続で黒字を確保したことは評価できる。
- 平成21年度は「津島やすらぎの里」「南レク施設」「地元団体」と一体となったイベントの開催を計画するとともに、南レク観光の事業を広げ、航空券やJR乗車券等の販売、各旅行業者の取扱販売、近隣観光施設やイベント主催者などと連携したツアーの地域密着型企画販売などによる収入増加を図ることとしている。また、商品開発課を設置して通年楽しめる参加型イベントを企画・開催し、賑わい創出に努める一方、地元特産品及び南レク施設の有用資源を活用した新商品の開発を促進するほか、愛媛、高知両県にまたがる四国西南地域の観光・宿泊施設でつくる「四国ルート観光協議会」の会員として、関西の旅行会社に観光旅行商品の開発を呼びかけるなど、利用促進に向けた積極的な営業活動も行っている。
- 平成20年10月から「津島やすらぎの里」の指定管理者となっているが、これは当法人独自の収入確保を図ろうとする取組であり、評価できるものである。しかしながら、部門収支では赤字を計上しており、収入増にはつなげたものの、収支改善には寄与していない状況にある。当法人では指定管理者受託後、地元飲食・ホテル業者、商工団体、地域住民グループなどによる「やすらぎの里活性化協議会」を設置しているとのことであり、運営に当たっては、当協議会を十分に活用し、施設運営方法の改善や各種イベントの誘致、共催等、地元との連携に努めていただきたい。
- 子会社のサンパール観光(株)については、南レクの利用客低迷に伴い、極めて厳しい経営状況が続いており、当法人の総資産の約5割が当該子会社の株式と貸付金になるなど、サンパール観光(株)への支援が当法人の経営を圧迫していることから、当法人の経営改革と併せ、当該子会社運営施設も含めた一体的な利用向上策が求められる。
- なお、当法人は平成19年度に実施した減資により資本金が400,000千円まで減少したことから、会社法に規定する会計監査人設置会社ではなくなっているが、引き続き適切な会計処理に十分留意する必要がある。

## 〔県の関与の適正化に向けた取組〕

## 財政的関与の見直し

- 南レク都市公園のあり方を見直しについては、「ホッと南レク活性化全体協議会」等で、施設の地元への移譲や利用促進事業について協議しているが、平成20年度末には、主に地元住民の利用に供している一部の施設について地元市町(宇和島市、愛南町)へ譲渡を行ったところである。また、一方で平成21年度には国補正予算を財源に大型遊具の更新やスポーツ施設の改築を行うなど、「高速道路の南予延伸」を見据えた積極的な取組もなされている。
- 県の財政的関与の適正化という観点から、地域住民の施設として有効活用できるものは、市町への移譲について可能なものから順次具体化するとともに、南予地域の活性化につながるよう、利用促進の方策についても協議会等で十分検討するなど、より効果的な事業推進に努めていただきたい。

## 〔総合的評価〕

- 指定管理者となっている南レク都市公園の運営については、利用者等の減少傾向に歯止めがきかず、厳しい経営状況が続いている中、経費節減等により当期利益を3年連続で確保したことは評価できる。しかしながら、依然として厳しい経営状況にあることは変わりなく、新たに開始した観光業や地元市の指定管理者施設の運営などを通じて、一体的な利用促進に向けた取組をより一層進め、南レク都市公園の利用促進による経営基盤の充実・強化を図ること。